

## C-87 半透明衣料の物理的特性

東京家政大家政 木曾山かぬ ○雲田直子

目的 半透明な透し衣料は、着装した場合の条件によって、その混色してみえる結果はいろいろの様相を示すと考えられる。分光測定機を用いてその種々な変化を測定し、従来の経験的に処理されていた点を角度をかえて観察し、考察することによって被服デザインの資料を得ることを目的とした。今回はオーガンザの有彩色を取りあげて、下着の色を変化させた場合と、肌色による変化の状況をみた。

方法 測定の方法は、日立分光光度計を用いた。資料の肌色はマンセル記号2.5YR, 5.0YR, 7.5YR, 10.0YRの高・中・低明度の色票と、半透明衣料として今回は有彩色の暗赤色・淡青色・淡黄色のオーガンザを選ぶ、肌色と重ねた混合色の状況の分光反射率曲線と三刺激値をとり、三刺激値は国際照明委員会のCIE色度図において、その動きを考察した。

結果 半透明衣料が有彩色の暗赤色と淡青色と淡黄色の場合には、肌色との混合の色調は、赤のオーガンザは濃い色調のために衣料の影響が大で赤味ある色調にかたむき、青や黄は淡い色調であったから、肌色の影響が大となって彩度の下降が顕著であった。